



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘 4 丁目 5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

新年あけまして おめでとうございます

人々皆が心を寄せ合い、思いやりが溢れる世の中で、これからの中の子どもたちの成長を見守っていける年の始まりとなればと強く思っています。

1月13日は「成人の日」で、相生市でも「20歳の集い」として、新しく20歳を迎えた若者を祝う式典があります。また、1月17日は、6434人が犠牲になった、阪神・淡路大震災から30年目を迎えます。そのどちらにも関わる話を紹介します。

右の文は、阪神大震災で神戸大生だった一人息子を亡くした加藤りつこさん＝広島市安佐北区＝を支えてきたのが、生前息子が残した、母親への手紙です。

国連職員を目指していたりつこさんの長男、貴光さん＝当時(21)＝は、神戸大法学部2年だった平成7年1月、下宿先の兵庫県西宮市のマンションが全壊し、亡くなった。一人息子を失ったりつこさんを支えてきたのが、入学式直前の5年4月、下宿先を訪ねたりつこさんのコートに、貴光さんがそっとしのばせた手紙だった。

親愛なる母上様

あなたが私に生命を与えてくださってから

早いものでもう20年になります

これまでに ほんのひとときとして

あなたの優しく 温かく 大きく

そして強い愛を感じなかったことはありませんでした

私はあなたから多くの羽根をいただいてきました

人を愛すること 自分を戒めること 人に愛されること

この20年で 私の翼には立派な羽根がそろってゆきました

そして今 私はこの翼で大空へ翔（と）び立とうとしています

www.nature.com/scientificreports/ | (2022) 12:1030 | Article number: 1030

卷之三十一

兵庫県姫路市夢前町三か田をつけた「親愛な
ごくがどい」この曲を謡曲新作が出会いばん

手紙に、ミュージシャン、奥野勝利さん＝兵庫県姫路市夢前町＝が曲をつけた「親愛なる母上様」を右のQRコードから聞いてみてください。この曲を通じた新たな出会いが今のりっこさんの支えとなっている。「息子が残してくれた手紙をきっかけに、多くの出会いがあった」と。

東井義雄 いのちの言葉 <1月> ~『東井義雄一日一言』(致知出版社)より~

生きている
健康である
手が動く 足で歩ける
目が見える 耳が聞こえる
このあたり前のことの中に
ただごとでない
しあわせがある

生きているということ

「この世に生んでと望みもしないのに」と、近頃の若者は言つて、自分で自分を粗末にしているようですが、ひとつ生命の誕生ということは、たいへんな願いと意志と、力の結果だとうのが真実でしょう。

「望みもしない」どころか必死に望まれて生まれてきた私たちではないでしょうか。

必死の願い

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッチ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

わが子の「お守り」になっていますか?

北九州少年サポートセンター

安永 智美

私が小学校で講演した後、小学5年生の男の子から電話が掛かってきました。彼は、「今日、安永さんは、チクるのは相談するという勇気のある行動』って言つたよね」と言つて、彼のクラスで起きていた万引きのことを話してくれました。その子のクラスでは、遊び感覚での万引きが流行つていました。やつていよいのはどうとうです。彼だけになり、学校でいつも友達から責められていたそうです。早く盗つて来い。いい子ぶりやがつて。弱虫、卑きよう者」と。でも彼は絶対にやりたくない私に電話してきたのです。

私はすぐに学校に連絡しました。その後、学校から連絡が行きました。お母さんたちはしっかりとわが子を叱り、抱きしめ、褒めました。

▼ ◇ ■ □ ◆ △

私は、親子で一緒に聞く講演会でまず親に聞きます、「皆さんは、わが子のお守りになれますか?」すると、ほとんどのお父さんお母さんが手を挙げます。次に子どもに聞きます。「お守りを持っている人?」つて。よく頑張ったね。君はヒーローだよ」

「どうして君は最後まで万引きしなかったの?すごいね。よく頑張ったね。君はヒーローだよ」

すると彼は、「僕も一度だけスーパーに消しゴムを盗りに行つたことがある。一度盗んでしまえば友達から責められました。

(2010年2月15日号より)

『彼は、『今日、安永さんは、チクるのは相談するという勇気のある行動』って言つたよね』と言つて、彼のクラスで起きていた万引きのことを話してくれました。その子のクラスでは、遊び感覚での万引きが流行つっていました。やつていよいのはどうとうです。彼だけになり、学校でいつも友達から責められていたそうです。早く盗つて来い。いい子ぶりやがつて。弱虫、卑きよう者」と。でも彼は絶対にやりたくない私に電話してきたのです。

私が万引きをせずに踏みとどまり、周りの友達に責められても自分を守れたのは、あの子の心の中に、「この人だけは裏切れない。この人だけは悲しませられない」という人がいたからです。それが万引きをせずに踏みとどまり、周りの友達に責められても自分を守れたのは、あの子の心の中に、「この人だけは裏切れない。この人だけは悲しませられない」という人がいたからです。

そして、「自分は愛されている」という自尊心があつたからです。私は、親子で一緒に聞く講演会でまず親に聞きます、「お母さんの悲しい顔とか笑顔が浮かぶやろ?」つて。息子たちは黙つていました。だから私は言いました。「分かった。じゃあ今日からお母さんは、あなたたちのお守りになります」と真剣な顔で言いました。すると、子ども達は二人とも真剣な顔で言つてくれました。

「分かった。じゃあ今日からお母さんは、あなたたちのお守りになります」と真剣な顔で言いました。すると、子ども達は二人とも真剣な顔で言つてくれました。

相生警察署長 市内小中学校いじめ防止サミット委員会
相生小、那波小児童代表 「自信とやる気を引き出すプラスの問いかけ」
講師 長谷川 满 氏

<日本講演新聞 「未来へ過去を転載して」より>

第44回 相生市青少年健全育成市民大会

1 日 時 令和7年1月26日(日) 午後1時00分~午後3時20分

2 場 所 相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール

3 主な内容

- (1) さわやかあいさつ運動表彰
- (2) 「相生における少年非行の概況」
- (3) 「いじめ防止サミット」の報告
- (4) 子どもたちのメッセージ
- (5) 記念講演

相生警察署長
市内小中学校いじめ防止サミット委員会
相生小、那波小児童代表
「自信とやる気を引き出すプラスの問い合わせ」
講師 長谷川 满 氏